

## 令和7年度 第2回鳴門高等学校学校運営協議会 (概要版)

1 日 時 令和7年11月28日(金) 午後2時から午後4時まで

2 場 所 鳴門高等学校 視聴覚室

### 3 会 議

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

(4) 村澤会長挨拶

(5) 議題①『『夢をかたちに』するために、常に学び続ける力を育成する取組』

(ア) Educationプログラム推進室より、Educationプログラム(略称:Eプロ)について

学校設定科目として開講されることになった経緯や取組について説明した。授業後には振返りの時間をとり、より充実した活動となるようにしていること、鳴門教育大学と連携し特色ある教育活動を行っていることを報告した。来年度は、各校種での体験実習を実施し、小中学校・特別支援学校との連携を図りながら、充実した実習になるように事前指導を実施することを説明した。

議題②「グローバルな視点を持ち、社会の一員として行動できる力の育成に関する取組」

(ア) ドイツとの交流について

8月に鳴門高校生がドイツのエルンスト・ロイター学校を訪問し、観光や文化・教育活動を体験し充実した取組であったことを説明した。11月にはエルンスト・ロイター校の生徒が、本校生徒の家にホームステイをして、部活動体験や授業体験などを行ったことを説明した。

(イ) 板野支援学校との交流の様子について

5月、板野支援学校の生徒が本校を訪ね、12月に本校生が板野支援学校を訪ねて交流会を実施していることを説明した。

(ウ) 鳴門教育大学との連携について

大学院生によるフィールドワークでの学習指導のサポートや、学びサポーターとしての英検2次対策指導など、充実した連携ができていることを説明した。

(エ) 台湾国際教育交流事業団の訪問について

授業見学や生徒の活動を見学してもらったことを報告した。

議題③「知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等の育成に関する取組」

(ア) 生徒指導課の取組について

生徒指導の課題を解消するための取組として、マナーズウィークの実施状況の説明、いじめやめん会の取組について報告した。

議題④「『生きる力』を育み、自他の命を尊重する、豊かな人間性の育成に関する取組」

(ア) 生徒指導課より、ヘルメットの着用について

着用率の向上・交通安全に対する意識向上に向けて、教員による立哨指導を実施していることを説明した。また、生徒が地域の交通安全キャンペーンに参加して交通安全を発信したこと、ヘルメットアンバサダーとして地域への呼びかけをしたこと、撫養駅でのD J ポリスの活動などについて説明した。

(イ) 定時制課程の取組について

スクールミッションに基づいた学校経営について説明した。文化祭や課外活動など特色ある教育活動を実践していることを報告した。

①～④に関する質疑応答

(ア) Educationプログラムは2年次生からも参加が可能であるか

— 可能である

(イ) 遅刻指導について

— 対話を通して登校しやすい環境を作っていくことが必要である

(6) 熟議・情報交換

○ドイツとの交流について

若い時に刺激を受けることは大切である。費用はかかるが、よい体験となるので毎年継続して欲しい。

○ヘルメットの指導について

ヘルメット着用や遅刻について生徒が主体的に考える場を設けてはどうか。

生徒が常に学び続ける力を高めることが大切だ。

高校生や大人もヘルメットかぶる社会づくりが大切である。

○いじめについて

当事者がいじめと感じたら丁寧に聞き取り、学校全体でいじめを見逃さない意識を高めるとともに、継続的に見ていく必要がある。

(7) 閉会

①第3回学校運営協議会（3月上旬開催予定）について連絡した。

